

評価結果公表票

作成日 平成22年3月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0272400573
法人名	有限会社 ひら岡
事業所名	グループホームひら岡
所在地	青森県北津軽郡鶴田町大字廻堰字東下山1番地1 (電話)0173-22-2887
評価機関名	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会
所在地	青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ2階
訪問調査日	平成21年12月8日

【情報提供票より】(平成21年11月6日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成14年12月27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算 14人	

(2)建物概要

建物構造	木造2階建て	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	理美容代 実費 ほか
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4)利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	17 名	男性 3 名	女性 14 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名
要介護3	4 名	要介護4	7 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 63 歳	最高 99 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	国民健康保険鶴田町立中央病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「地域とふれあいながら一人ひとりが家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活が送れるように支援する。」という理念に基づき、職員は笑顔を絶やさず、理念の実現に努めている。
 散歩時に挨拶を交わしたり、近隣の方より野菜をもらうなどの日常的な付き合いを行っているほか、ホームの夏祭りや敬老会など、ホーム行事への参加も呼び掛け、交流を図っている。小学校の運動会や保育園との相互交流のほか、三味線演奏や人形劇などのボランティアも受け入れ、見学や相談にも随時対応している。
 外部研修派遣やホーム内勉強会を行い、職員の資質向上に努めていると共に、同町内のグループホーム協会に加入し、情報交換をするなど、サービスの質の向上に努めている。
 馴染みの美容院の利用や入居前から利用している専門医療機関の継続受診の支援を行っている。また、急な買い物など、利用者の希望に対して、柔軟に対応している。

【特に改善が求められる点】

高齢者虐待を発見した場合の対応方法や報告の流れなどを整備し、全職員に周知し、理解を図ることに期待したい。
 利用者の献立や栄養面などについて、栄養士などの専門家より指導・助言を受けられる体制作りを期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価結果を基に、職員会議で話し合い、できることから改善することで、夜間を想定した避難訓練の実施や、家族への感染症に関する情報提供など、具体的な取組みを行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員一人ひとりが作成し、管理者がまとめ、全職員で再確認した上で作成している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議メンバーは会議の意義を理解し、定期的開催している。会議ではホーム行事や運営状況を中心に報告を行うほか、地域情報を得たり、地域との関わり等について話し合っている。また、自己評価や外部評価結果も報告し、今後の改善策も踏まえた意見交換を行うことでサービス向上につなげている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>玄関に意見箱を備え、職員から家族等に声掛けを行うことで、話しやすい雰囲気作りに努めている。苦情受付窓口を重要事項説明書に明示し、ホーム内に掲示することで家族に周知している。苦情や意見が出された場合は、苦情処理フローに基づいて対応するほか、会議等で話し合い、日々のサービスに反映させる体制である。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩時に挨拶を交わしたり、近隣の方より野菜をもらうなどの日常的な付き合いを行っている。また、町内会に加入し、地域行事等に参加しているほか、夏祭りや敬老会など、ホーム行事への参加も呼び掛け、交流を図っている。さらに、小学校運動会や保育園との相互交流や、三味線演奏や人形劇などのボランティアも受け入れ、見学や相談にも随時対応している。</p>

【各領域の取組状況】

領域	取組み状況
I 理念に基づく運営	<p>地域住民とのふれあいを大切に、笑顔を大切にサービス提供に取り組んでいる。</p> <p>研修計画に基づく研修派遣やホーム内勉強会を実施している。また、町のグループホーム協会へ加入し、研修参加を通じた交流を図っているほか、評価結果に関する運営推進会議での助言により、サービス向上に取り組んでいる。</p> <p>家族には毎月の家族便りを発行したり、家族面会時や電話を通して利用者の暮らしや健康状況などを報告している。</p>
II 安心と信頼に向けた関係作りと支援	<p>利用者や家族がホームを見学したり、職員が病院や自宅を訪問することで、顔馴染みの関係を築けるよう努めている。また、十分な話し合いを行い、納得を得た上でサービスを開始している。</p> <p>日々の利用者とのコミュニケーションを通して、喜怒哀楽を共にし、理解に努めている。また、洗濯たたみやテーブル拭き、茶碗やおぼん拭き、植物の水やり、野菜作りなどを利用者職員がお互いに協力しながら生活している。</p>
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<p>日常会話や表情、行動を通して利用者の意向把握に努めると共に、必要に応じて家族等から情報収集を行い、介護計画に反映させている。</p> <p>協力病院を中心とした受診支援を行いながら、専門医等、利用者や家族等が希望する医療機関への受診支援も行っている。また、協力病院の看護師と連携を図り、いつでも相談等ができる体制が整っている。</p> <p>協力病院と24時間体制の連携を図り、健康管理や病院受診後の情報の共有を行っているほか、必要に応じて話し合い、意思統一を図っている。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<p>利用者の居室に入室する際はドアノックをしたり、トイレ誘導時には小声で誘うなど、利用者のプライバシーや羞恥心に配慮している。また、利用者に対する日々の接し方についても、ミーティングや会議にて話し合いを行っている。</p> <p>日中や夜間を想定した避難訓練を実施するほか、災害時備蓄品も準備している。</p> <p>感染症対策マニュアルを作成し、会議等で学習の機会も設けている。行政やインターネットなどから、感染症に関する最新情報を収集し、家族便り等で情報提供したり、玄関に予防の掲示と手指消毒液を常備するなど、予防に努めている。</p>